

中国ニードルコークスの市場動向

CMI

2020年3月下旬、中国国内石炭系ニードルコークス（以下「NC」と略す）取引価格は一部で原価を下回り、取引価格は5,000～7,500元/トン（7.8～11.6万円/トン、1元＝15.5円で換算）、石油系NCは6,500～8,000元/トン（10.1～12.4万円/トン）、生コークスは4,500～6,500元/トン（7.0～10.1万円/トン）である。

輸入面では、韓国石炭系NCは700～800ドル/トン（7.7～8.8万円/トン、1ドル＝109.8円で換算）で、石油系NCは2,000～2,200ドル/トン（22.0～24.2万円/トン）で、負極用コークスは1,000～1,200ドル/トン（11.0～13.2万円/トン）である。

下表の2019年12月初旬の中国市場内NC価格に比較して、かなり低下していることがわかる。

中国国内NCの価格動向（2019年12月5日現在時点）

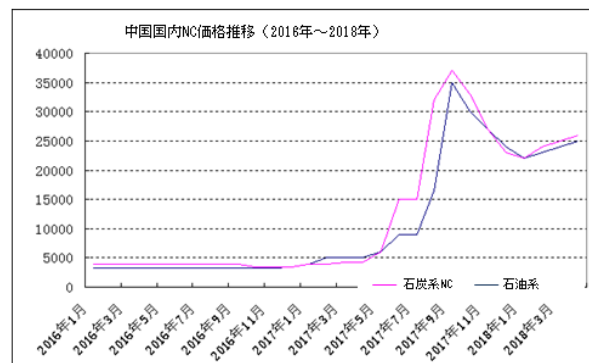
（1元＝15.44円で換算）

NC	企業名	価格		備考
		人民元(万元)	日本円(万円)	
石炭系	振興炭材	1.3	20.1	生コークス9K 内部供給
	鞍山熱能	1.8	27.8	内部供給 運転停止 10K
	方大喜科墨	1.8～1.9	27.8～29.3	内部供給 運転停止
	宝泰隆	1.1～1.2	17.0～18.5	生コークス9K
	宝舜化工	1.0～1.1	15.4～17.0	生コークス7K
	金州化工	1.0～1.1	15.4～17.0	生コークス9K 運転停止
	宝武炭材	1.1～1.2	17.0～18.5	生コークス9K
	宏特煤化	1.0～1.1	15.4～17.0	内部供給
石油系	益大新材	1.3～1.4	20.1～21.6	生コークス10K
	京陽科技	2.1～2.2	32.4～34.0	上場 生コークス9,000
	錦州化工	0.9	13.9	生コークス7,500

出典：iccsino.com 2019年12月5日「国内NC価格動向」。

中国市場のNC、2017年に環境問題を改善し、産業構造を調整するために鉄鋼業の電気炉生産は政策奨励の対象となり、黒鉛電極の急増につれてNCの需要が増え、供給が需要に追いつかない結果、下図に示したように同年半ばごろから価格が急騰し始めた。

このような背景の中で企業はNCへの新規投資に熱心になり、2019年、中国市場のNCの供給量は70.6万トンに達し、うち国内生産は44.5



出典：中華商務網 2018年4月19日

万トン（石炭系 25 万トン、石油系 19.5 万トン）、輸入は 26.1 万トン（石炭系 6.5 万トン、石油系 19.6 万トン）である。

然し、2019 年から黒鉛電極は供給過剰のため価格は前年同期の半値程度となり、NC もその影響を受け、また NC 産業自身の過剰投資により生産能力が需要を大きく上回ったこともあり、値下がり止められなくなった。

因みに、広東煤基炭材料研究有限公司のデータでは、2019 年に中国の NC の新規増加生産能力は 58 万トンのようである。

一方、リチウム電池負極材料は NC への需要が安定に推移しながら増える傾向をしめしているものの、生コークスのため、価格がそもそも安い。NC 企業の赤字を挽回するには頼りにならない。

2019 年、中国製の石炭系 NC の 6 割はリチウム電池負極材料、4 割は黒鉛電極材料で、石油系 NC の 33.3% はリチウム電池負極材料、66.7% は黒鉛電極材料である。輸入する石炭系 NC の 69.2% は黒鉛電極に利用される。石油系 NC の 58.7% はリチウム電池負極材料に利用される。

情報源：石墨邦 2019 年 8 月 29 日、財聯社 2018 年 8 月 13 日、中華商務網 2018 年 4 月 19 日により整理作成。